

第3回 TOMAS交流会 3年生サッカー交流大会 11ブロック大会

【交流会趣旨】

- ・少年期における子供たちの健全なる心身の発達を願い、そしてサッカーのゲームを楽しみ、愛する心を育てる。
- ・選手育成をめざし、多くの選手に試合経験を与えることを目的とする。

- * 主催 公益財団法人 東京都サッカー協会 東京都少年サッカー連盟
- * 主管 東京都少年サッカー連盟
- * 協賛 リソー教育 グループ

【11ブロック大会要項】

- 1、期日 11ブロック大会 2019年12月8日(日)、12月15日(日)、12月22日(日)
- 2、会場 稲城市南多摩スポーツ広場多目的広場 他
- 3、参加資格 2019・東京都少年サッカー連盟大会要項「中央大会・ブロック大会共通事項」に準じる。
 1. 小学校3年生主体で編成されたチーム。ただし2年生以下の選手を含める場合は選手の健康・体格・体力・技能等を十分に考慮しチームの責任において出場させること。
 2. 複数チームエントリーは採用しない。
 3. 移籍については2019・連盟大会要項『移籍規定』に準じる。移籍チーム代表及びブロック委員長への報告は必須。(ブロック大会から東京都中央大会に至るまでに、同一選手が異なるチームで同大会へ参加することは出来ない)
 4. チームに所属する選手であり、JFAの選手証を有し試合に持参する事(個別もしくは一覧の印字された選手証が必要)
 5. グラウンド提供から会場運営など、大会運営に協力でき、且つ会場ルールを守るチームであること。
 6. 試合会場の準備・後片付けを積極的に行い、運営・審判の割り当てをこなす事(審判は有資格者で経験者である事)
- 4、引率指導者 2019・東京都少年連盟大会要項「参加資格について」に準じる。
 1. ベンチ入り引率指導者は全て本協会公認コーチ資格(D級以上)を有する2名以上5名以下であることが必須だが、3人目から5人目の内1名は指導者資格を有しないメディカルスタッフとしてベンチ入りする事ができる。
 2. ベンチ入り指導者の指導者証は印字して選手証と一緒に提出してチェックを受けなければならない。
- 5、表彰 1～4位まで表彰する。 * 6位までが中央大会へ出場出来る。
- 6、競技会規定
 1. 競技会規則
 - a. 日本協会2018/2019競技規則を基本とし、2019年5月改正の新ルールは適用しない。
 - b. 「8人制サッカー競技規則」の最新版に準ずる。但し「東京都少年連盟大会要項」および「本大会要項細則」が優先する。
 2. 試合方法
 - a. 試合形式はグループリーグ戦及び勝ち上がりトーナメント戦にて行う。
 - b. 試合はすべて15分ハーフ(インターバル5分)にて行う。決勝戦については、同点の場合は5分ハーフの延長戦とする。勝敗がつかない場合は3人ずつのPK合戦とする(決まらない場合はサドンデス方式)。決勝戦以外は延長戦は行わず、同点の場合は3人ずつのPK合戦にて勝敗を決める。
 - c. アディショナルタイム表示はしない。
 - d. 登録選手全員がベンチ入りできる。また全員が出場できるようにチームで配慮する。8人制で実施する。
 3. リーグ戦における順位決定方法
勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
 - ① 全試合の得失点差(総得点-総失点)
 - ② 全試合の総得点
 - ③ 当該チーム同士の対戦成績(勝敗)
 - ④ ①～③の全項目において2チームもしくは3チームが同一の場合は、抽選により順位を決める。
 4. 競技のフィールド
 - a. フィールドの表面は天然芝、人工芝が望ましいが、クレーでも可(ライン表示についてはマーカーコーンの使用可)
 - b. フィールドの長さ(タッチライン)は60m、幅(ゴールライン)は40mを基本とし、照度が十分に確保されていること。交代ゾーンとして中央から両側に3mのマーク(タッチラインから5cm離して30cmの線)を設ける。
 - c. ペナルティエリア等・・・ペナルティエリア12m、ゴールライン～ペナルティマーク8m、ゴールエリア4m
ペナルティアークの半径7m、センターサークルの半径7m、コーナーアーク1m
 - d. テクニカルエリアは設置しない。戦術指示はその都度ベンチのただ1名の指導者のみが伝えることが出来る。
 - e. ハーフタイム時のフィールドでは、次の試合のチームの練習のための利用を認める。

5. ボール

- 両チームから1個ずつ公認検定球を当該試合開始10分前まで(≒選手チェック時)に会場本部に持ち寄る。
- 主審は、0.8気圧を基本として、そのボールにおいて適切な値とする。(主審判断)

6. 競技者

- 8人の競技者(内1人はゴールキーパー)が試合に出場する。試合の都度チームの登録人数に制限はない。
- FPは交代ゾーンから自由な交代とする。GKの交代は主審に通知し試合の停止中に行う。
- 一方のチームが8人に満たない場合は試合を開始しない。試合中の負傷者・退場者は即時補充する。
試合が開催出来なかった場合、8人に満たないチームの放棄試合として不戦敗扱いとする。
不戦勝はリーグ戦が得点3、勝点3となり、不戦敗は得点0、勝点マイナス1となる。トーナメント戦で不戦敗は敗戦となる。
- 試合進行中および終了時、フィールド上に6人未満の場合は、試合は不成立(6人未満のチームの放棄試合)となる。
なお、主審の許可を得て、用具を直すまたは負傷の処置で一時的に6人未満の場合はその限りではない。
本項は、早期復帰することが条件となる。復帰の見通しがたない場合は主審の判断で競技を終結させる。
放棄試合は放棄したチームの不戦敗とし、リーグ戦で不戦勝チームは得点3、勝点3となり、不戦敗チームは得点0、勝点マイナス1となる。トーナメント戦では不戦敗は敗戦となる。
- 競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充する。主審は補充が完了するまで競技を再開しない。交代要員はユニフォームと異なる色(ビブス等)を着用する。
- 試合に出場(ベンチ入りも含む)出来る競技者は、試合当日の登録用紙兼メンバー表登録者で用具チェックを受けた者だけとする。出場停止や用具不備、応援のためだけでベンチ入りすることは出来ない。
- 退場処分(1試合の中での警告2枚を含む)及び累積警告2枚となった選手は、次の試合には自動的に登録できない。
- 選手証を所持していない選手は登録できない。但し申請中で送金済みを証明できる書類を役員が確認し承認した者は認める。
- チームの最初の試合開始30分前までに顔写真貼付の印刷された選手証と登録用紙兼メンバー表を本部に提出する。
webにて電子選手証もしくは電子選手証一覧を印刷出力したもの(顔写真貼付け必須)を使用する。
- 試合開始10分前までに先発メンバーに「✓」を入れた登録用紙兼メンバー表を本部に提出する。
- メンバー登録された選手は自身の全ての試合開始遅くとも10分前までに、用具確認とともに登録確認を受けなければならない。
- ハーフタイム時に返却された登録用紙兼メンバー表の後半先発メンバー欄に「✓」を入れて再度運営に提出する。
- 2試合日以降追加登録選手がいない場合は、試合開始10分前までの先発「✓」入り登録用紙の提出のみで良い。
(後から参加の選手がいない場合、2試合目からは選手証の提出は不要)
- そのチームの当日の試合がすべて終了後、登録用紙は本部が回収し競技部へ提出するまで保管する。
- 必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。

7. 競技者の用具(ユニフォーム)

- 日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に則る。※チーム名やチームを示すエンブレムをシャツの前面に表示する(背面は任意)。
- 選手番号は規定(背面:縦25cm-35cm、前面:縦10cm-15cm)サイズを適宜縮小することができる。
- 番号表示はシャツの背面及び前面に必須とする。ショーツには表示を推奨する。
- ユニフォームの同一メーカーでのロゴの違い、モデルチェンジによる微妙なデザイン変化、ソックスのライン数には言及しない。
- 試合には必ずFPの正副、GKの正副を持参し、用具チェック前に対戦相手と相談の上着用するユニフォームを決める。**
相談が纏まらなかった場合は審判によるコイントスで正副を決める。
- その試合で必ずゴールキーパー(GK)がフィールドプレーヤー(FP)に代わることが決まっている場合においても、
ゴールキーパー時にはゴールキーパー用、フィールドプレーヤー時にはフィールドプレーヤー用それぞれのユニフォームを着用し、且つGK時とFP時とも同じ背番号でなくてはならない。なおこの対応はアディショナルタイムに加算する。
(11Bローカル規定)・・・予期せぬ事態以外でのFPとGKが同色のパンツとソックスの着用は認めない。
- ゴールキーパーの予期せぬ事態(ケガ・退場等で戦術的理由ではない場合)でのフィールドプレーヤーとの交代の際は、他のプレーヤーと区別する為、試合で使用していない正副いずれかのシャツで本人の番号であれば着用可能。
それが難しい場合は番号無しの安全なジャージ等の着用し試合を続ける事ができる。
- GKの正副は同じデザインが基本だがメーカーのモデルチェンジなどでの多少の違いは問わない。また3人目からのGKのユニフォームは前の2人と異なるデザイン・色彩でも良いが、シャツ・ショーツ・ソックスは正副を揃え且つFPと区別できる色とし、本人固有の番号が表示されていなければならない。
- 選手番号は試合の都度、その選手固有のものとし、試合ごとに変更する事ができる。(11Bローカル規定)

8. ベンチスタッフ

- 試合開始から終了まで登録表兼メンバー表に記載され指導者資格を掲示した2人以上5人以内のチーム指導者がベンチにいないといけない。例外として前後の試合の審判対応での退席の間、ベンチ指導者が1名になる事は認められる。
- 3人以上5人以内の時、うち1名は指導者資格のないメディカル証を掲示した戦術指示をしないスタッフのベンチ入りも認める。
- そのチームの最初の試合30分前に選手所定事項を記載した登録用紙兼メンバー表の指導者部分に、ベンチ入りする指導者の氏名及び指導者番号と氏名の左端に『O』を記載して、印刷された選手証と指導者証と共に運営本部に提出する。
- 指導者は指導者証を、メディカルスタッフはメディカル承認証を、それぞれ首掛け式の透明カードケースに入れて試合中は常時掲示していること。指導者資格を持つスタッフはメディカル証を掲示しない。
- 試合中の戦術指示はその都度1名のみで、その1名の指導者はその場で立ち続ける事が出来るが、前へ進む事は出来ない。
- メディカルスタッフは戦術指示を出す事が出来ない。指示が発覚した場合主審は注意し、繰返したら退席を命ずる。

9. 審判

- 試合は、1人の主審と1人の補助審判(必須)で運営される。
- 試合の都度チームに審判が割り当てられるので、有資格者で経験者である審判員をチームに同行させること。
- チーム帯同審判員は本大会に参加している他チームとの掛け持ちは不可。敗退したチームが後日の審判を手伝う事は認める。
- 審判員は審判を行う前に審判資格証(印刷またはアプリ画面)を本部運営に提示し確認を受ける。
- 審判員は専用に販売されている審判服の着用を必須とする。(黒のハーフパンツ等ではNG)
- 審判員はワッペン・笛・スコイン・時計・懲戒カード・記録用紙を揃えて審判を行う。

- g. 審判員は割り当てられた試合の10分前の用具チェック時に合わせて指定の場所に集合し、メンバー表を基に両チームの参加選手の選手番号や氏名を確認し用具のチェックを行う。
自チームの試合の次の試合に審判任務を割り当てられている場合で、その審判員が自チームの試合のベンチ入り指導者2名に含まれる場合、この用具チェックの時にベンチ入り1名になる事は認められる。
- h. 主審は担当試合の終了後、速やかにコート本部記録と整合の上「結果報告書」に得点と懲戒の有無を記載し署名する。
- i. 主審は「結果報告書」に記載署名した後に「審判報告書」を作成し運営に提出する。この時の審判員が次試合のベンチ入り指導者の2名の内の1名であるなら、審判報告書作成が済むまで次試合のベンチ指導者が1名でも可とする。
- j. 競技者に退場を命じて、チームが交代要員から競技者を補充しようとしている間、主審は試合を再開させない。
- k. メディカルスタッフのコーチングを確認(補助審判からの報告も含む)した場合、主審はそのメディカルスタッフに注意する。注意しても繰り返す場合はメディカルスタッフに退席を命ずる。

10. 試合前の準備

- a. そのチームの最初の試合の30分前までに必要事項を全て記載した登録用紙兼メンバー表と、webから印刷した選手証(個別または一覧表)と、同じwebから印刷した当日のベンチ入りスタッフ全員の指導者資格証を、それぞれ入れた透明カードケースを本部運営に提出し確認を受ける。メディカルスタッフがいる場合はメディカル承認証もカードケースに入れて提出する。
- b. そのチームの毎回の試合10分前までに先発メンバーの前半の欄に「○」印を付けくわえた登録用紙兼メンバー表と、試合球を持参した当日登録の選手全員が、本部指定の場所に集合して選手番号と氏名及び用具のチェックを受ける。
- c. 競技者は用具チェック後はその場から離れることは出来ない。離れた場合再度用具チェックを行う。

11. 運営担当

- a. 運営担当は2チーム各1名ずつで行う。運営担当者は空気圧計と空気入れを持参し審判の用具チェックを補佐する。
- b. 運営担当は気温の高い日にはWBGT計を持参し会場の所定の位置に設置したうえで、KO時HT時の数値を結果報告書の所定欄に記載し、危険な数値になったら審判と本部に伝える。
- c. 対戦表運営欄で、第1試合の左側に記載されていたチームの運営担当者は、当日そのコートで行われる全試合分の結果報告書と審判報告書を持参し、対戦表運営欄の最終試合の右側に記載されたチームの運営担当者は、そのコートの全試合分のメンバー表と結果報告書・審判報告書を回収して競技部へ報告する。
- d. 運営担当者は主審が試合終了後に得点と懲戒の有無を記載し署名した結果報告書の内容を両チームの代表者と共に確認し、問題が無かったら結果報告書のチーム署名欄に両チーム代表者の署名をもらい、主審には審判報告書の記載を促す。
- e. 試合中審判や運営本部で判断できない事由が生じた場合は、速やかにブロック委員長に連絡を取ること。連絡が取れない場合は予定通り試合を続けるが「ブロック委員長預かり試合」とするので結果報告書に両チームの署名を求めない。後日委員長の判断が出たら、委員長が両チームから直接署名を受領する。
- f. 運営担当からの報告は、結果報告書と懲戒のあった試合の審判報告書(記載があったら「重要事項」も)と、記載された場合の「その他報告書」とし、pdfもしくは鮮明な写メで結果報告書の上部にある競技部と委員長あてに試合の当日中に配信する。
- g. 運営担当者が試合中メディカルスタッフのコーチングを確認した場合、速やかに補助審判を通して主審に伝えなければならない。同様にその都度1人のみのコーチングが守られていなかったり、スタッフがベンチより前に進んでいたら補助審判に伝える。
- h. 運営担当者もしくはチーム関係者誰でも、観客・指導者・審判員等の行き過ぎた言動を『その他報告書』に記載して競技部と委員長に直接配信もしくは手渡しして報告する。署名は不要で内容はその他報告書の「記載例」を参照とする。

12. 警告・懲罰および再試合など

- a. ブロック大会期間中に累積で警告を2回受けた選手は、次の1試合は出場停止となる。
ブロック大会全日程終了時点で、累積警告は消滅するものとする。
- b. ブロック大会において退場、退席を命じられた選手、役員は、その試合の以降の時間帯と次の1試合は自動的に出場できず、それ以降の処置については東京都少年サッカー連盟 規律フェアプレー委員会において決定する。
- c. 競技者が退場を命じられた場合、試合が再開する前にその競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充する。
- d. 試合が一方または両方のチームの責任なき事由(天災・悪天候・高気温・施設側または大会運営事由など)により開催不能または終結となった場合は原則「再試合」とする。再試合の日時・会場・審判員・選手登録は新たに設定できる。
- e. 大会本部および当該チーム合意のもと、やむを得ない事情により再試合が不可の場合は速やかに競技部と委員長に報告し、ブロック委員長は各役員を招集して委員長主導のもとで協議し、その後の処置を決定する。
- f. 試合が一方あるいは両方のチームの責任における事由(10分遅刻、選手証不携帯、人数不足、集団暴力、破壊行為、公文書偽装、差別化、試合拒否など)により主審や本部役員によって開催不能または中止と判断された場合は下記の対応とする。
- A. 一方のチーム責任による、開催不能もしくは中止の場合
- ・そのチームの放棄試合として、不戦敗扱いとする。
 - ・不戦勝はリーグ戦が得点3、勝点3となり、不戦敗は得点0、勝点マイナス1となる。トーナメント戦で不戦敗は敗戦となる。
- B. 両方のチーム責任による、開催不能や中止の場合
- ・無効試合として原則『再試合』とする。
 - ・再試合の日時、試合会場、審判員、メンバー登録などは新たに設定する事が出来る。
 - ・ただし、大会競技会本部及び当該チーム合意のもと、やむを得ない事情により再試合が不可能な場合は『引分け』とする。
 - ・引分けはリーグ戦が得点0、勝点0となる。トーナメント戦では次に進むチームをチーム代表者のくじにより決定する。
- なお、A,Bにおいて事由内容によっては懲罰が与えられる。また重大事由の場合、没収試合として当該チームの全記録を抹消する事もある。それらは、ブロック委員長から東京都少年連盟に報告され少年連盟によって決定される。
- g. 試合会場運営本部で判断が出来ない事象が生じた試合は、終了してもブロック委員長預かり試合とする。
- h. サッカーに対し敬意の無い行為(過激な応援・ヤジ・審判へのクレーム等々)を行ったチーム(選手・コーチ・応援含む)や、会場ルールを破るチーム(選手・コーチ・保護者・その他のチーム関係来場者)も懲罰の対象となる場合がある。それらは「結果報告書」「審判報告書」「その他報告書」などにより委員長はじめブロック役員に報告される。
- i. 『その他報告書』で報告された内容はブロック委員長が注意喚起などで対処するが、悪質な場合は東京都少年連盟に報告して懲罰の判断を仰ぐこととする。
- j. 本協会諸規程および本記載事項にない問題事例に関しては、東京都少年連盟へ報告して処分決定を促す。

【参考資料】

■サッカー競技規則 http://www.jfa.jp/documents/pdf/soccer/lawsofthegame_201819.pdf

■8人制サッカー競技規則 <https://www.jfa.jp/documents/pdf/eight/rules.pdf>